令和６年度　いじめ防止等のための目標、取組内容、達成状況について

浜松市立井伊谷小学校

目標（◎本年度の重点目標）		取組内容	調査結果 R6.10月教育総務課実施：①児童実態調査(6年児童93人回答)、②保護者実態把握調査(6年保護者46人回答)、③教員実態調査(本校職員23人回答)、④地域住民実態把握調査11人回答)			肯定的回答割合 上段：本校 下段：(市)	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	達成状況 A（80%以上）・B・C（50%以下）	今年度の取組（・）	改善策	学校運営協議会委員の意見（※）
1	「学校いじめ防止基本方針」を公表し、子供、保護者、学校運営協議会に説明する。	「学校いじめ防止基本方針」のホームページへの公表	②質問13	保護者	学校のいじめ防止基本方針を知っていますか	67.4% (58.0%)	14	17	14	1	A	・学校のいじめ防止基本方針については、４月にHP公開した。 ・４月ＰＴＡ理事会・ＰＴＡ総会で保護者へ説明した。 ・６月の学校運営協議会で説明した。 ・児童には、６月のいじめをなくそう集会で説明した。	・見直した基本方針を、今年度同様に児童、保護者、地域住民に説明し、浸透を図る。	【学校運営協議会委員の意見】 ・「先生に相談しやすいか」の子供の評価が低い。 ・相談は先生でなくてもよい。質問項目を「先生」に限定せず、友達や親なども対象にすればよいのではないか。 ・いじめへの対応は十分以上にやっていると感じている。先生たちへの負担が大きいのではないか。 ・子供の自殺者や不登校が増加している。子供自身が弱くなっているのではないか。いじめと感じればいじめであるという今の法律はそれでよいのか。 【学校関係者評価を受けて】 ・「先生に相談しやすい」の評価が低い児童は、日常的に頻繁に担任に相談している児童であることも多い。教職員も日ごろから意図的に声を掛けており、今後も継続していく。 ・浜松市および学校の基本方針に則っていじめ対応を継続していく。子供や教職員の負担がこれ以上増加しないように、対応方法について都度見直していく。
							30.4%	37.0%	30.4%	2.2%				
		「学校いじめ防止基本方針」について、子供、保護者、学校運営協議会へ説明	④質問2	地域住民	学校のいじめ防止基本方針を知っていますか	100.0% (94.7%)	8	3	0	0				
							72.7%	27.3%	0.0%	0.0%				
			②質問14	保護者	学校のいじめ防止方針等の取組(いじめについて考える授業や集会・いじめアンケートなど)を知っていますか	89.1% (58.0%)	25	16	5	0				
							54.3%	34.8%	10.9%	2.0%				
2	◎組織的かつ実効的にいじめの問題に取り組むために「校内いじめ対策委員会」を機能させる。	いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくり	①質問21	児童	いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか	96.8% (95.2%)	77	13	2	1	A	・いじめはいけないことだという意識は、児童・保護者・教員に浸透されている。 ・きらきらカードの交流は日常や行事などに学年間、異学年間で行っている。 ・いい顔の日は２か月に１回実施している。 ・臨時校内いじめ対策委員会は、問題が起こるたびに開催、校内いじめ対策委員会定例会は、月に１回開催した。	・いじめ防止標語については、さらに家庭・地域への周知も図る。 ・相談しやすい学級づくり、保護者との信頼関係の構築をしていく。 ・「校内いじめ対策委員会」を機能させ、組織で対応していく。	
							82.8%	14.0%	2.2%	1.1%				
			②質問12	保護者	いじめは、どんな理由であってもいけないことだと、お子さんに話をしていますか	95.7% (98.7%)	33	11	2	0				
							71.7%	23.9%	4.3%	0.0%				
			③質問25	教員	いじめは、どんな理由であってもいけないことだと指導している	100.0% (99.8%)	21	2	0	0				
							91.3%	8.7%	0.0%	0.0%				
			①質問22	児童	いじめなど困った時があった時、先生に相談しやすいですか	59.1% (70.1%)	24	31	25	13				
							25.8%	33.3%	26.9%	14.0%				
			②質問19	保護者	学校や子供に関することを、教職員に気軽に相談できますか	73.9% (77.5%)	13	21	9	3				
							28.3%	45.7%	19.6%	6.5%				
			①質問23	児童	人が困っているときは、進んで助けていますか	84.9% (89.3%)	31	48	14	0				
							33.3%	51.6%	15.1%	0.0%				
		いじめの疑いに関する情報や子供の問題行動などに係る迅速な情報収集、適切な記録、情報の共有	③質問26	教員	学校のいじめ防止基本方針を理解し、それに沿って対応するよう心掛けている。	100.0% (99.8%)	21	2	0	0				
							91.3%	8.7%	0.0%	0.0%				
		緊急会議の開催	③質問34	教員	子供や保護者からのいじめ等の相談や気になる表れに対して、一人で抱え込まず、他の教職員と情報共有しながら対応している	95.7% (99.4%)	15	7	1	0				
							65.2%	30.4%	4.3%	0.0%				
3	校長は、いじめ防止等の対策が実効的に機能するようリーダーシップを発揮する。	組織的対応を可能とする体制整備	③質問35	教員	校内外でいじめや人権に関する研修を受講し、自らの資質向上に努めている	78.3% (89.0%)	8	10	4	1	B	・校内外でいじめや人権に関する研修を受講した。	・研修の機会を積極的に取り入れていく。	
							34.8%	43.5%	17.4%	4.3%				
4	いじめの未然防止に向けて、「井伊谷小　優しさの約束　『自分がされて嫌なことはしない　言わない』を浸透させるとともに、いじめが起きにくい・いじめを許さないための教育活動を展開する。	道徳教育や体験活動の充実	③質問27	教員	道徳科の授業等で、「はままつマナー」を活用して、命を大切にする心や規範意識について指導している	82.6% （76.6%）	9	10	4	0	A	・６月は全学級で「命」の授業を行い、参観会にて保護者にも公開した。 ・外部講師を招聘し、３年生以上に情報モラル講座を開催した。 ５，６年生は保護者とともに講座を受講した。 ・道徳の授業の中で情報モラル教育を行った。	・なるべく早い時期に情報モラル講座を設定する。	
							39.1%	43.5%	17.4%	0.0%				
		情報モラルの指導、情報モラル講座の開催	①質問18	児童	インターネットやゲームをするときのルールやマナーを守ることができますか	88.2% （92.2%）	48	34	7	4				
							51.6%	36.6%	7.5%	4.3%				
			③質問20	教員	インターネットやゲームをするときのルールやマナーについて、日常的に子供に指導している	82.6% （89.5%）	7	12	3	1				
							30.4%	52.2%	13.0%	4.3%				
			②質問７	保護者	インターネットやゲームをするときの家庭内での使い方のルールをお子さんと決めていますか	89.1% （88.3%）	41			5				
							89.1%			10.9%				
			③質問21	教員	情報モラルについて、子供にわかりやすく指導している	87.0% （92.1%）	9	11	2	1				
							39.1%	α47.8	8.7%	4.3%				
			②質問8	保護者	情報モラルについて、お子さんと話をすることがありますか	87.0% （85.0%）	17	23	6	0				
							37.0%	50.0%	13.0%	0.0%				
5	いじめ防止等のための対策の目標を立て、目標に対する具体的な取組状況や達成状況を評価し、評価結果を踏まえてその改善に取り組むようにする。	「校内いじめ対策委員会」での当該年度の目標設定、達成状況評価、必要に応じて「学校いじめ防止基本方針」の見直し										・校内いじめ対策委員会で、学校いじめ防止基本方針の見直しを検討する。また、事例検討を行い、対応力を高める。		
		「校内いじめ対策委員会」での本校のいじめの実態把握や対処がうまくいかなかったケースの検証、計画の見直しの実施。その結果を学校運営協議会に報告、評価												